



# ADRC Highlights

Vol.51

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

July 16, 2002

## ➤ ADRC が ISDR の早期警報ワークショップに参加

6月24-25日、ドイツのポツダムにあるGFZ(ドイツ地球科学研究所)で、「災害の早期警報」をテーマとするISDR(国連国際防災戦略)のタスクフォース第2ワーキンググループが開催され、ADRCから西川が出席しました。現在



ISDRの枠組みの下で、国連専門機関及び各地域防災機関が4つのテーマでワーキンググループを組織して検討を進めており、このWGは、国連環境計画(UNEP)が座長をつとめ、WMO、UNCCD(国連砂漠化防止会議)、CDERA(カリブ海防災機関)、DMC(アフリカ旱魃監視センター)などが参加しており、ADRCは今年の4月からISDRタスクフォース(評議員会)メンバーに加盟したことから、今回この会議に参加することとなりました。今後、WG2では、世界各地で使われている災害の早期警報システムの一覧を作成すること、これら早期警報システムの効果測定手法を検討すること、等の方針が示されました。また、今回のWGのホスト役となったドイツISDR委員会より、2003年10月にドイツ政府がホスト国となり、"International Early Warning Conference 2003 Potsdam+5"を開催する意向が表明されました。

## ➤ ADRC メンバー国カウンターパート紹介 第4回

### □ タイ: 内務省内政局市民防衛課

アジア防災センターは、23のメンバー国および4つのアドバイザー国と1つのオブザーバ機関から構成されています。各メンバー国のカウンターパート機関紹介のシリーズ第4回は、タイ内政局市民防衛課について紹介します。

タイでは市民防衛事務局がタイ国全土の災害緊急支援活動や災害対応政策の実施の調整役を担っています。事務局の主な役割は以下の通りです。

1. 国家市民防衛マスタープランを下記目的に沿って整備する。
  - 防災政策のさまざまな面に関する各関係機関の管轄権と責任の所在を明確に決定する。
  - 防災・減災活動に関わる各省庁、関連機関の協力体制を強化する。
  - 防災に関わる機関の対応能力をより強化する。
  - 早期警報や情報の伝達、災害救援のための情報システムを改善する。
  - 災害軽減活動をおこなう NGO や市民と協力する。
2. 台風や洪水に対する早期警報システムに重点を置き、防災に関する市民の啓発活動をおこなう。
3. 災害の危険性がある地域の住民に対して災害に関する情報

を普及させる。

4. 下記のようなセミナー、会議、ワークショップ、トレーニングを開催する。
  - 市町村で防災や緊急支援に関するトレーニングを行う講師のためのトレーニングコース
  - 市町村の消防隊員のための基礎および応用トレーニングコース
5. 災害に見舞われた州や地方政府が、インフラの復興や被災地域住民の生活再建のために要求する特別予算要求について、国家予算委員会に提出する前に詳しく検討し、承認を与える。

さらに詳しい情報については、アジア防災センターホームページで紹介していますので、ご覧ください。

## ➤ アジアにおける最新災害情報

### □ インドで洪水被害

7月上旬から続いていたモンスーンによる豪雨によって、インドの各地で洪水被害が発生しました。被災地は、アッサム州、ビハール州、グジャラート州、ヒマチャルプラデシ州、マドヤプラデシ州、マハラストラ州、ケララ州などで、このうち最も被害が激しかったのが北東部のアッサム州とビハール州でした。

インド政府によると、7月10日現在、豪雨によって引き起こされた洪水および土砂崩れによって、199名がなくなり、941,000人が被害を受けました。建造物などへの被害も甚大なものとなり、9,000戸あまりが全壊、半壊などの被害を受けました。(7/11 国連人道問題調整事務所レポートなど)

### □ バングラデシュで洪水被害拡大の恐れ

バングラデシュ国土の広い範囲に及び、7月上旬から続いている豪雨によって、浸水被害が発生し、数千万人が避難生活を余儀なくされています。また、この影響で12名が死亡したと伝えられています。バングラデシュ洪水情報センターは、現時点ではまだ状況は危機的ではないが、このまま豪雨が続けば被害がさらに拡大する恐れがあると注意を呼びかけています。バングラデシュでは、1998年に洪水により3,500人の死者が出る被害がありました。(7/10 BBC ニュース、CNN ニュースなど)

### □ アジア太平洋諸国に台風 Chata'an 襲来

7月7日、ミクロネシアで土砂崩れを引き起こし、十数人の被害を与えた台風 Chata'an が、フィリピンで鉄砲水、土砂崩れ、高潮などを引き起こし、17名が亡くなりました。首都マニラや周辺都市で15,000人余りが避難しました。

フィリピンで爪跡を残したこの台風は、7月9日から11日にかけて日本列島に襲来し、激しい雨と洪水被害をもたらしました。12日現在、4名が亡くなり2名が行方不明となりました。また、100,000人がこの台風の影響で避難を余儀なくされました。(7/11 ロイターニュース、消防庁被害報告など)

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)